

第25回かがわ型グリーン・ツーリズム体験モデル企画 「三豊の夏を楽しむ～ブルーベリー狩り、風穴見学、ブドウのギフト箱詰め体験～」が開催されました。

かがわグリーン・ツーリズム推進協議会の主催により、標記モデル企画が平成30年8月25日(土)に、三豊市の田尾ブルーベリー農園、白井の実ファームほかで開催され、19名の方に参加いただきました。



田尾ブルーベリー農園でのブルーベリー狩りでは、園主の田尾さん家族から、ブルーベリーの収穫方法や栽培方法、木によって実の色や味が違うことを教えていただき、いろいろな木のブルーベリーを味わいながら、収穫しました。「甘い」「すっぱい」の声が聞かれ、参加者は甘くておいしいブルーベリーを探しながら収穫を楽しんでいました。

園地近くのカフェ「ファミリー」では、自分が収穫したブルーベリーをタルトにカスタードクリームや生クリームとあわせてデコレーションし、自分好みのケーキをつくり、おいしくいただきました。



志保山の風穴は、案内人である真鍋さんが再発見・修復し、風穴までの道を数年かけてボランティアで整備したもので、当日もボランティアで案内していただきました。片道約20分弱の山道でしたが、全員が最後まで登ることができ、風穴では自然の涼を堪能しました。真鍋さんから、風穴が養蚕業に利用されていたことや風穴再生の苦労話をお話していただき、参加者は熱心に話を聞き感心していました。



白井の実ファームでは、ブドウの園地を見学し、園主の白井さんから栽培方法や本年は7月の豪雨被害やイノシシの害などで苦労したという話を伺いました。作業場に移動して、ブドウの栽培方法をお伺いした後、白井さんに房の整形・袋付けのコツを教えてもらいながら箱詰め作業を体験しました。ブドウ栽培の大変さが知れて良かったという声がありました。

今回の体験が、今後の農業・農村の理解と新たな体験へのきっかけ作りになることを期待しています。